

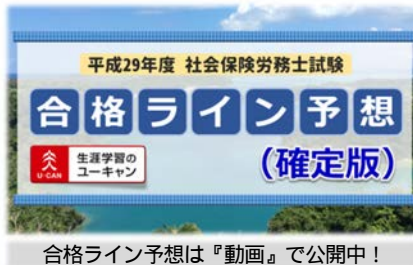
平成 29 年度本試験が終わって



平成 29 年度本試験の総括 ユーキャン社労士講座

平成 29 年 8 月 27 日(日) 本試験を受験された皆様、お疲れ様でした！今年度も、午前が選択式、午後が択一式であり、午後にはかなりの疲労が出たことと思われます。皆様のご苦勞を心から讀ただえますとともに、誌面にて今年度試験を総括します。

合格ライン予想は、ユーキャンのホームページで公開している動画をご確認ください。なお、正式な合格基準点などは、**合格発表日(11月10日(金))**に試験実施機関から発表される予定です。



合格ライン予想は『動画』で公開中！

〈1〉 選択式について

全体的な難易度

今年度の選択式は、全体的に**難易度のバランスが良い**という印象です。各科目に1つ程度、難度の高い空欄が配置されており、「3点の基準点をギリギリで取らせよう」との作問者(試験委員)の意図が感じられます。試験委員は、今年度は16名であり昨年度よりも1名減っていますが、そのメンバーは同じでした。つまり、昨年度と同じ試験委員が今年度の試験問題を作っているわけですから、難易度を昨年度からうまく修正・調整したものと考えられます。近年の傾向から鑑みますと、択一式も含めて、**社労士試験の難しさは、今年度のものが標準的なものになってもおかしくありません。**

本質的な難易度を示すと次表のとおりです。選択式全体としては、**普通レベル**でした。なお、ここでいう「本質的な難易度」とは、「通常のテキスト学習等」で正解が得られるか否かを基準として、ユーキャン独自の方法により区分したものであり、実際の得点状況(平均点)とは一致しないものもあります(平均点には、ほとんど学習していない受験者の得点も含まれているため)。

選択式の本質的な難易度

易...「易しい」、普...「普通」、難...「やや難」又は「難しい」

	労基・安衛	労災	雇用	労一	社一	健保	厚年	国年
A	易	易	普	難	難	難	易	易
B	普	易	易	普	易	普	易	普
C	易	普	易	難	難	難	易	普
D	易	易	難	易	易	難	難	易
E	難	易	普	難	易	易	普	難
全体	普通	易しい	普通	難しい	普通	難しい	普通	普通



得点状況から見る「難しかった科目」は？

選択式で得点状況が悪くなかった（平均点が3点未満の）科目は、**雇用**、**労一**及び**健保**の3科目でした。それぞれのポイントなどは、次のとおりです。

雇用	「未支給の基本手当（A）」「日雇労働被保険者（B・C）」「雇用保険二事業（D・E）」といずれもややマイナーなテーマからの出題。B・Cは易しい。最大のポイントは、 <u>最新の改正事項（D・E）</u> を学習していたか。Eは改正の学習で無理なく正解が可能。
労一	A・Cは能力開発基本調査から割合を問うた難しい出題。Dの外国人雇用状況の届出制度が「すべて」の事業主を対象とするものと答えられたかが明暗を分けそう。Bも空欄後の文章や常識的観点からの判断で正解は可能。残りはAかEで得点したい。
健保	AとDは不正解でも仕方がない。しかし、Eの人数要件は確実に正解しなければならない。最大のポイントは、 <u>B・Cの協会けんぽの財政の調整に関する問題を正解できたか</u> である。全体的に出題内容が混乱を誘う作りなので高得点をあげるのは厳しい。

上記3科目は「ユーキャンの教材」で得点できたのか？

ところで、「ユーキャンの教材は、内容が基本事項ばかりで、（上記のような）難度の高い問題に対応できないのでは？」というご意見に残念ながら接することがあります。確かに基本重視なのですが、**本試験に十分対応できる**教材であり、カバー率は高い水準です。上記3科目でポイントとなる空欄の解答は、雇用E「**労働生産性**」、労一A「**約7割**」・B「**指導する人材が不足している**」・E「**ベトナム**」、健保B「**年齢階級別の分布状況**」・C「**総報酬額の平均額**」ですが、**いずれもカバー**しています。



重要な教材の1つASSIST

【ASSIST法改正総まとめ号-P23】

(1) 雇用保険二事業の理念の明記（法64の2、平29.4.1施行）
雇用保険二事業の理念として、次の規定が新設されました。
雇用安定事業及び能力開発事業は、被保険者等の職業の安定を図るため、**労働生産性**の向上に資するものとなるよう留意しつつ、行われるものとする。

本文(1)は、選択式対策としてやや注意しておきましょう。
(2)では...
G level

【過去問攻略集(労働編)-P481】

24-4

労働経済

【問24】職業能力開発に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
なお、本問は、「平成23年度能力開発基本調査（厚生労働省）」を参照しており、当該調査における用語及び統計等を使用している。
A 能力開発や人材育成に関して何らかの「問題がある」とする事業所の割合は約7割であり、問題点の内容としては、「**指導する人材が不足している**」、「**人材育成を行う時間がない**」、「**人材を育成しても辞めてしまう**」が上位3つを占めている。

雇用Eは赤字で強調

労一A・Bは、要するにH24の過去問を見ていれば、正解が可能であった（傾向は、通常、大幅には変動しないため）



(7) 外国人労働者の雇用状況 [H28] ※H28.10.31現在の状況 (平成28年外国人雇用状況の届出状況まとめ(平成28年10月末現在))

【外国人労働者を雇用している事業所数】…17万2,798箇所(前年比13.5%増)

産業別 ……「製造業」が最多(全体の23.5%)

事業所規模別 ……「30人未満」が最多(全体の56.7%)

【外国人労働者数】 ……108万3,769人(前年比19.4%増)

国籍別 ……中国31.8%、ベトナム15.9%、フィリピン11.8%、ブラジル10.5%

→ベトナムについては、前年に比べ大幅に増加している(対前年同期比56.4%)

在留資格別 ……「身分に基づく在留資格[※]」が最多(全体の38.1%)

※「身分に基づく在留資格」には、「永住者」、「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」、「定住者」が該当する。

【補足】外国人雇用状況の届出制度では、雇用対策法に基づき、すべての事業主に対し、外国人労働者の雇入れ又は離職の際に、当該外国人労働者の氏名、在留資格、在留期間等を厚生労働大臣に届け出ることを義務づけています。

3 厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ(平成28年10月末現在)によれば、外国人労働者を雇用する事業所数は約 **C** 箇所であり、平成19年に届出が義務化されて以来、過去最高を更新した。

外国人労働者の属性を国籍別にみると、中国が最も多く、外国人労働者全体の31.8%を占める。次いで、**D**、フィリピン、ブラジルの順となっている。また、対前年伸び率では、特に、**D** が56.4%と大幅な増加となっている。一方、外国人雇用事業所の特性を産業別にみると、「**E**」が23.5%を占めている。

【選択肢】

①17万3,000 ②韓国 ③建設業 ④4万6,000
 ⑤ベトナム ⑥学歴、職歴 ⑦105万1,000 ⑧インド
 ⑨ベトナム ⑩製造業 ⑪情報通信業 ⑫33万8,000

劣-Eのベトナムのほか、補足でD「すべて」にも言及

的中!

[基本テキスト-P151]

健保B・Cは図入りで解説

[第2回模擬試験-選択式問6]

②財政の調整

協会は、次のように、支部間の不均衡を是正するため、支部被保険者を単位とする健康保険の財政の調整を行います。

支部被保険者・その被扶養者の年齢級別の分布状況 → 差異によって生じる療養の給付等に要する費用の額の負担の不均衡 → 協会管掌健康保険の被保険者・その被扶養者の年齢級別の分布状況

支部被保険者の総報酬額の平均額 → 差異によって生じる財政力の不均衡 → 協会管掌健康保険の被保険者の総報酬額の平均額

財政の調整により是正

③ 全国健康保険協会は、支部被保険者及びその被扶養者の年齢階級別の分布状況と全国健康保険協会が管掌する健康保険の被保険者及びその被扶養者の年齢階級別の分布状況との差異によって生ずる **D** の不均衡並びに支部被保険者の **E** と全国健康保険協会が管掌する健康保険の被保険者の **E** との差異によって生ずる財政力の不均衡を是正するため、政令で定めるところにより、支部被保険者を単位とする健康保険の財政の調整を行うものとされている。

⑮ 総報酬額の平均額 ⑯ 平均入院日数
 ⑰ 保険給付に係る療養に要する平均的な日数

的中!

今回の選択式は、ユーキャンの提供する教材で、**全科目3点以上得点することが可能**でした。上記の教材を繰り返し学習した方は、今回の選択式は十分な手ごたえを感じられたのではないのでしょうか。

② 択一式について

全体的な難易度

今年度の択一式は、全体的には**やや易しい**レベルであり、近年の傾向どおり、受験者の**実力が反映されやすい**内容でした。一方、難しい問題も比較的多かったため、**易しい・普通レベルの問題**でいかに取りこぼさず得点を重ねることができたかが重要でした。近年の難易度の推移は次のとおりです。

択一式の難易度の推移(過去5年)

ユーキャン独自の方法で算出

	易しい	普通	難しい	全体の印象
平25	21	29	20	やや易しい
平26	14	36	20	普通
平27	13	28	29	難しい
平28	14	32	24	普通~やや難しい
平29	20	23	27	やや易しい



今年度の択一式の特徴は？

今年度の択一式については、通常の教材で高得点も可能でした。その特徴は、次のとおりです。

科目間のレベル	昨年度の難易度が大幅に修正され、 <u>社会保険科目</u> （特に <u>健保と国年</u> ）が得点しやすくなった。また、最も易しい国年を除き、各科目は平均して、「易 = 2 ~ 3 問、普 = 3 ~ 4 問、難 = 3 ~ 4 問」であり、 <u>難易度のバランスが良く、突出して難しい科目はない。</u>
形式面	全体の <u>頁数は 58 頁</u> であり、昨年度（59 頁）とほぼ同じであった。長文化の傾向に歯止めがかかった感がある。 <u>個数問題は 3 問のみ</u> となり、昨年度（7 問）から大幅に減った（この分、得点しやすくなった。） <u>組合せ問題は 8 問</u> （昨年度は 11 問）であった。
改正判例事例	<u>最新改正問題 18 肢</u> ・ <u>前年改正問題 13 肢</u> であり、昨年度（37 肢・8 肢）より <u>減少</u> 。 <u>判例問題は 13 肢</u> で、昨年度（7 肢）より <u>増加</u> 。労災での判例の出題が目立った。 <u>事例問題は 58 肢</u> で、昨年度（72 肢）より <u>減少</u> 。特に複雑な事例問題が減った。

〈3〉まとめ

今年度の本試験は、選択式・択一式ともに、メリハリの利いた問題が多く見られました。「正解しなければならない問題」と「正解しなくてもよい問題」がハッキリとしているという意味です。そして、「正解しなければならない問題」は、基本事項、改正及び過去問を繰り返し学習することで攻略することができます。昨年度に『合格基準の考え方について』が公表された影響として、今後はより受験者の実力が反映されやすい問題が社労士試験の中核となっていくものと考えられます。つまり、「社労士試験 = 頑張った人が報われる試験」であることがより鮮明になるのではないのでしょうか。

最後に、今年度試験を踏まえた学習のアドバイスとして、次の2点をお伝えします。

1 広義の『社会保険科目』の攻略が必須！
広義の社会保険科目（特に、労災、雇用、徴収、健保、国年、厚年）は、得点状況に差が生じやすい傾向にあります。問題演習、改正・数字要件の整理を、早期に丹念に行うことが攻略のカギです。



2 『ややマイナーなテーマ』にも目を光らせる！
ややマイナーなテーマについても、得点状況に差が生じやすい傾向があります。「ややマイナーなテーマ」とは、テキストの本文に記載はあるが、学習で飛ばしてしまいがちなテーマ（たとえば、保険給付の通則、障害手当金など）のことです。幅広い項目を地道にカバーする努力が大事です。

以上、今回受験された1人でも多くの方が、11月10日に見事合格者としての称号を手に入れ、社労士としてさらなる活躍をされますことを期待しつつ、総括の結びとします。お疲れ様でした！